

# みんなで子育て No. 12

## 山県市立高富中学校 「防災研修」 1月18日

### 学校行事参加型 + 講演会型 + わが家の約束運動

#### 9月16日 「命を守る訓練」

大地震発生時の避難所で想定される「災害用トイレ・備蓄倉庫・応急処置」についての体験活動を実施。

#### 12月24日～1月9日の任意の日

### 『わが家の約束宣言』の取組について

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動  
～話そう！語ろう！備えよう！わが家の防災会議～

#### 1 いざというときの家族の役割分担

私の役割	( )の役割	( )の役割	( )の役割	( )の役割

#### 2 危険な場所・物のチェック

- タンスや本棚、食器棚などを子どもなど固定し、倒れないようにしている。
- 食器棚のなごはらは、とめ金具などで倒れないようにしている。
- テレビはできるだけ低い位置に置き、倒れないように固定している。
- 避難場所や入り口の付近には避難物を置かないようにしている。
- 高いところには物を置かないようにしている。
- 食器棚や窓のガラスが割れても飛び散らないように飛散防止フィルムや樹脂テープなどが貼ってある。
- 電気器具（こたつ・扇風機・ヒーター）



#### 3 非常持ち出し品の準備

- 非常持ち出し品袋（非常持ち出し品）
- 飲料水（一人一日3リットル目安、3日分）
- 食料（3日分目安、賞味期限が長いもの）
- カセットラジオ・ポータブル充電式ラジオ
- ラップ（非常時に食べ残しを密封可能）
- 紙面・紙コップ・割りばし（使い捨て）
- 携帯ラジオ・携帯充電器（災害情報）
- 筆記用具（油性ボールペンもある）
- ヘルメット・防災頭巾（落下物から身を守る）
- 笛・ホイッスル（探し求められたとき）
- 軍手（強風の中を歩いたり、寒い場所でも安全に行動できる）
- 寝袋・毛布・スリッパ（避難場所）
- 万能子ナイフ・ほつち・ちりとりなど
- マスク・体温計・救急用品セット
- カイロ・毛布など防寒用品

### 話そう！語ろう！備えよう！わが家の防災会議

災害による被害を最小限にとどめるためには、家族が協力して自然から備えていく必要があります。下の4つを参考に、わが家の防災について確認をしましょう。

#### ■家族の役割分担

- いざというときの家族の役割を決めよう。
- ガスの元栓を閉める人
- 電気のコントラクトやブレーカーを切る人
- 出入口を確認する人
- ラジオ・TVなどで情報を確認する人
- 非常持ち出し品を確認する人
- 火を消す人
- けが人の手当てをする人

#### ■家の危険箇所チェック

各家中にも危険がたくさんあります。チェックしてあげましょう。ほかにも、安全に避難するため、倒れてきそうなおブロック塀や木々等、家の周りの確認をしておくといいです。

#### ■非常持ち出し品の準備

☆避難するときに持っていくものは準備してありますか？  
チェック項目のほかに、懐中電灯、ビニール袋、ビニールシート、タオル、電源タップなど、あると便利なものもあります。この機会に考えてみてください。足りないものは、今のうちに準備しておくといいいと思います。

#### ■避難場所や避難方法の確認

☆避難場所やこれまでの避難場所が分かっていますか？  
☆地域の避難場所  
山県市のホームページを検索すると調べられます。  
☆家屋が倒れ壊れに変わった時の避難方法  
少し離れた親戚の連絡先を決めておく、そこに家族の安否を伝える、情報を取る方法もあります。地域の電話番号を確認しておくといいいしょう。  
☆災害用伝言ダイヤル「117」や携帯電話の災害時伝言サービスの使用方法を確認しましょう。

#### 4 避難場所・避難方法の確認

①わが家の避難場所

#### 5 防災会議に取り組んだ感想



高富中学校PTAでは、生徒が学校で行っている「命を守る訓練」を受け、家庭でも**災害発生時の避難行動や災害への備えについて家族で話し合うことが大切である**という考えのもと、冬休みの間に、その場を設けていただくことを計画しました。

家族みんなで考え、話し合うことが家族の「絆」を一層強めることになると捉え、県で推進している**「話そう！語ろう！わが家の約束」運動と絡め**、左の取組表を使い、各家庭で防災会議を実施してもらいました。

取組表の裏面には、**防災会議を円滑に進めるための資料も添えて**あります。

家庭での防災会議を済ませ、**日を置かず防災研修を行うことで、家族での話し合いが十分であったかの確認**にもなったのではないかと考えます。

### 参加保護者の感想

当時の写真やお話を聞き、災害に遭った方々のことを思うと心が痛みました。学ぶことがたくさんありました。ただ悲しみに打ちひしがられるだけではなく、災害はなくなるので、どうすべきかということ普段から意識して考えていかなければならないと感じました。中学生の息子にも、この研修が自分のものとして考えていってもらえたらと強く感じました。（抜粋）

私の家は、災害危険区域にあるため「有事の際は、ここへ行くんだよ」「防災グッズは、ここに置いてあるよ」と伝えてあります。自分のできることで、家庭でできることは、少しでもやるべきと思っています。（抜粋）



新型コロナウイルス感染症第8波の拡大により、放送での講話に。保護者は会議室での視聴となりました。

### 1月18日 「防災研修」(生徒・保護者)

講話：「東日本大震災 そのとき」

講師：各務原市の社会教育指導員 鷲見 隆司 氏

鷲見氏は、東日本大震災後、岐阜県からの派遣教員として宮城県東松島市にある矢本東小学校で約1年間勤務され、被災した子どもたちの心のサポートに尽力されました。現在も毎年現地を訪れ、当時の子どもたちやその家族の方との交流が続けられています。

矢本東小学校は、海岸から約3kmのところであり、学校から南へ100mのラインで津波は止まりましたが、親への引き渡しを終えた児童2名が津波の犠牲となっています。

# 家族内防災会議で自然災害に備える!

局地的な大雨と洪水、火山の噴火、大きな地震など、自然災害による被害が昨年も多く起きました。園や学校では「命を守る訓練」を定期的に行い、いざという時のために備えています。保護者のみなさんも、職場等で同様の訓練を行ってみえることでしょうか。ところで、ご家庭ではどうでしょうか。自然災害は、いつ・どこで遭遇するかはわかりませんが、**生活時間が長い家庭で遭う確率が一番高い**はずです。被害を小さく抑えるための手立てや、ライフラインが寸断された時への準備、家族が離れて災害に遭った時の集合場所や避難場所、連絡方法の確認など、家族みんなまで相談して決めたり、準備したりしておくことが、家族の命を守るうえでとても大切になります。

**大きな災害が発生したとき、「自助・共助・公助」のうち、「公助」を期待することは難しい状況になります。「自分の命は自分で守る」「家族の命は家族で守る」ということが基本**になります。

「備えあれば憂いなし」の言葉に従い、家族の絆を深めるため安全を確保するために、家族で防災会議を開いてみましょう。

- 家の中にある家具が全て転倒、落下したときのセーフティスペースを確認してみましょう。
- 最低3日間、救助が来ないものとして、必要な食料や物品等をリストアップしてみましょう。
- 避難場所として有効な場所を洗い出してみましょう。

防災会議を行ったら、家族で協力して次の行動を行きましょう。

- 家具の固定
- 非常用物品（食料を含む）の買い出しと保管
- 避難場所とそこへの経路の下見

家庭教育プログラム(小・中学校編)「みんなで子育て3」プログラム21の『家族で防災会議』に、ワークシート、資料、進行案が掲載してあります。これらを活用して家庭教育学級を開催することが可能です。冊子がお手元にない場合は、[岐阜県HP](#)よりダウンロードしてお使いください。

### ワークシート

#### No.21 家族で防災会議

##### 家族で防災会議

「あなたは、今、命を守る行動ができますか?」

こんなことありませんか?

小学校と中学校の子どもの着てあるあみこさんには、心配なことがあります。それは、数年前から日本のあちこちで、今までにない大雨が降り、川が氾濫して洪水になり、土砂崩れで道路や家が壊れてしまったところが多くあることです。今までは、早い指定避難所に行けばよかったです。ですが、三密などの多い指定避難所では感染症が心配です。近所の人に関心してあげたいですが、意見はばらばらです。

「感染症が心配だけど、家では一人ぼっちだから、指定避難所を援助を受けたいわ。」

「ペットも家族。指定避難所では連絡がつかずから、自宅と一緒にいたいわ。」

「フロッグの車に乗って避難できるから、車中泊で乗り切りたいわ。」

「被害のなやまな親戚の家に一緒に避難して、しばらくの間、お世話になりたい。」

あみこさんは、どこに避難すればよいかわからなくなっていました。

※ あみこさん「資料2」のハザードマップポータルサイトに地域に想定される災害について調べてみましょう。  
 (例) 地震などの土砂災害に心配がない、0.5~3.0メートル未満の洪水が起きる可能性がある。

あなたは、家族といっしょにどこへ避難しますか。次のいずれかに○を付け、理由を挙げながら、意見を交流しましょう。  
 (資料3のワークシートのメリット・デメリットに付け加えながら、考えてもみて下さい)

**ワーク!**

**指定避難所    自宅    車中    親戚・知人・ホテル**

【理由】

### 資料1

#### No.21 家族で防災会議

##### 地震や集中豪雨・洪水などの自然災害から命を守るために、あなたの家族はどこに避難しますか。考えてみましょう!

その前に

ウイルスの感染を恐れ、心配しすぎず

命が助かる行動を取りましょう。

あなたが選ばなければみんなが選ぶ

あなたが選ばれれば、みんなが選べる

もれでは、始めましょう。

避難の仕方にはどんなものがあるでしょうか?

(自宅)「ペットも家族。指定避難所では連絡がつかずから、自宅と一緒にいたい。」

(車中)「フロッグの車に乗って避難することができるから、車中泊で乗り切りたい。」

(指定避難所)「感染症が心配だけど、家では一人だから、入がる指定避難所を援助を受けたい。」

(親戚・知人・ホテル)「しばらくの間、被害のなやまな親戚の家に世話になりたい。」

これらは一例です。

また、家族の状況が違う中で、どれも正解!という避難はありません。

それぞれの避難の仕方にメリット・デメリットがあります。

そこで、これら例をもとに避難のメリット・デメリットを考え、どのような避難を第一としていく家族と相談してみましょう。

災害が起きた時、どんな避難にもデメリットが少なからずあるため、避難をためらうことがあります。いざという時にためらわなくても済むように、今から準備をしましょう。

### 進行案

#### No.21 家族で防災会議

※ 家族全員が揃って、今まで想定していなかった自然災害が多発しています。また、避難所での感染症対策も必要です。家族全員が命を守る行動をとることができるよう、避難場所や避難するまでに準備するものを考えましょう。

時間	進め方	留意点
10分	<p><b>はじめのこぼし</b>                      「あみこさん、ふんこさんは、今回は参加したたくさんの方に感謝です。」  <b>アイスブレイク</b>                      「最初にみんなで簡単なゲームをしましょう。やり方を説明します。」                      ● 全員に役割を分けます。                      ● 順番に「このせいでいばいばいもの」を口に。誰か一人が失敗したら、全員でツッコミをします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員で観てみず。苦悶をしない。</li> <li>○ 全員に対して「おは、やっばい!」と挨拶をする。</li> <li>○ 「アイスブレイク」を、事前に「このせいでいばいばいもの」に「おは、やっばい!」と挨拶をする。</li> <li>○ 「3」のツッコミを、事前に、苦悶が出ないよう、役割分担を大切にする。</li> <li>○ 「進行案」から「3」までについて確認する。</li> </ul>
20分	<p><b>ワークシート</b>                      「ワークシート」をご覧ください。</p> <p>「ワークシート」で選んだ避難所を理由に、困るとは思うが、困らないようにするために、何を準備する必要がありますか。</p> <p>● ワークシートで考えをメモし、交流する。                      ● どの人、親戚の家が災害に遭いにくいのか調べて避難の準備をしよう。                      ● ペットのえさを多めに準備しておく。                      ● 避難の準備の準備を多めに準備をしよう。                      ● 自宅の1階に水や電気が、水や電気が止まらないように、2階に避難する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートにメモする時間がない場合は、そのままだらに入ります。</li> <li>○ 避難所では「自宅、車中、親戚・知人・ホテル」の避難所から「3」までについて確認する。</li> <li>○ 避難所を考慮し、全員に話す準備をする。</li> </ul>
20分	<p><b>ワークシート</b>                      「ワークシート」で選んだ避難所を理由に、困るとは思うが、困らないようにするために、何を準備する必要がありますか。</p> <p>● ワークシートで考えをメモし、交流する。                      ● どの人、親戚の家が災害に遭いにくいのか調べて避難の準備をしよう。                      ● ペットのえさを多めに準備しておく。                      ● 避難の準備の準備を多めに準備をしよう。                      ● 自宅の1階に水や電気が、水や電気が止まらないように、2階に避難する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最初に避難する場所が困ることを中心に考えて避難所について、家族間で確認をしよう。</li> <li>○ 避難所では「自宅、車中、親戚・知人・ホテル」の避難所から「3」までについて確認する。</li> </ul>
10分	<p><b>振り返り</b>                      「今日はありがとうございました。自分や家族を守るために大変な準備をしようという意識ができています。」</p> <p>● ワークシートに考えをメモし、交流する。                      ● ここに避難するに、感染症の心配があるから、マスク、消毒液、アルコール除菌シートを準備しよう。                      ● 「思いついたこと」を準備するときに、日ごろから防災のための準備をしよう、準備をしようという意識を持っていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「資料3」4、5を配布する。</li> <li>○ 「資料3」5を確認して「自宅」を避難場所にする場合は危険であるため、再度確認する。</li> <li>○ 「資料4」5を確認して準備をしよう。</li> </ul>

**きちんとぼうさい**  
 Oshichi no Kichinto Boukai

災害に備えよう!  
 災害に備えよう!  
 災害に備えよう!

【連絡先】

お問い合わせ

【QRコード】

岐阜県では「きちんとぼうさい」、内閣府は「みんなで減災」という啓発冊子を作成し、大規模な自然災害に備える手立てを示しています。また、各市町でも「防災に關わる冊子」等を作成していますので、これらの活用も考えてみてください!



## みんなで減災

### 自宅で備える

自助・共助・公助  
 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。自助は一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。自助は一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。

共助  
 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。自助は一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。自助は一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。

公助  
 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。自助は一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。自助は一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。

あなたにもできる減災!  
 地震、津波、風水害など、自然災害は突然やってくる。あなた自身、ご家族、地域の皆さんで、しっかり備えましょう!

目次

- 1. 自助・共助・公助
- 2. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 3. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 4. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 5. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 6. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 7. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 8. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 9. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 10. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 11. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 12. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 13. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 14. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 15. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 16. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 17. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。
- 18. 自助とは一人ひとりが自分の命を守ることに努めることです。

【QRコード】

【連絡先】

# 自分もとより、周りにも大切にする言動ができる子に！

「人権」は、歴史的にはヨーロッパで生まれた考え方です。「人は、一人ひとりがかけがえない尊いものである」という考えで、どんなときも「踏みにじられたり、無視されたりしてはいけない」という考えになります。

1948年12月10日に「世界人権宣言」が採択され、これに合わせ、12月4日～10日は「人権週間」となっています。

岐阜県の全小・中・高等学校では、人権意識を高める「ひびきあい活動」に取り組んでおり、各学校では、12月上旬ごろの任意の日に「ひびきあいの日」を設け、人権に関わる集会を行ったり、学級で取り組んでいる活動について全校に発表したりしています。

また、小学校などでは日常的に友だちの「いいところ見つけ」に取り組み、他者を認める心を育てています。

左のリーフレットは、県内の小学6年生と中学2年生の保護者に配付されている人権啓発リーフレットで、人権施策推進課が発行しています。

子どもの人権意識を高めるためには、子どもに接する大人の人権意識も高くなくてはなりません。**人権意識を高めるためには、まずは、正しい知識を得ることが必要**になります。

## 今年4月には「こども基本法」が施行されます。

日本は、1994年に国連の「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」に批准しましたが、今まで子どもの権利を守る法律がありませんでした。

子どもの権利条約の1条～40条の条文の内容は、「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」の4つの権利にグループ分けすることができますが、**こども基本法も、この4つの権利（原則）に従って作られています。そしてその内容は、「家庭教育」を行う上で守るべき大切なものになっています。**

簡単にまとめてみると、「子どもを育てる責任はその父母にあり、子どもが心身ともに健やかに成長できるように努めなければならない」「子どもに関係あることを行うときには、子どもにとって最もよいことは何かを第一に考えなければならない」「子どもは、自分に関係のあることについて、自由に自分の意見を表すことができ、その意見を子どもの発達に応じて、十分に考慮しなければならない」ということになります。

家庭教育学級の「テーマ」の1つとして、「子どもの人権」をはじめ、身の回りにある人権問題について学ばれる機会を設けられることをおすすめします。

**家庭ではぐくむ 生き合う力**

No. 43

ありませんか？

- 性的指向及び性自認(性同一性)を理由とする偏見・差別
- あなたのおまわりでこんなこと
- 新型コロナウイルス感染症及びワクチン接種に関連する人権侵害
- 部落差別(同和問題)
- 女性の権利
- 外国人の権利
- インターネットによる人権侵害
- 障がいのある人の権利
- 子どもの権利

親子として、自分自身の人権感覚をチェックしましょう

- 家庭で子どもとあそびつを交わしていますか
- 兄弟姉妹や友達と比べて、褒めたり、けなしたりしていませんか
- 「いじめられる子ども原因があるよ」と言っていますか
- 子どもの服装について、偏見や差別を言っていますか
- 差別の子(女の子)だから〇〇しなさいと決めつけていませんか

## ☆ 人権啓発出前講座

(家庭教育学級の講師として派遣が可能です！)  
 費用：無料 講師：人権啓発指導員  
 申込み先：岐阜県人権啓発センター（県庁2F）  
 電話番号：(058) 272-8252



県の人権施策推進課では、日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思ってかけた「言葉」や「行動」に周りの空気が温くなったという経験や、つらかったとき、苦しかったときかけられた「言葉」や「行動」が励ましになった経験など、心温まる出来事を「ちょっといい話」として毎年募集しています。応募のあった作品の中から80作品を「冊子（右）」にまとめ、県民の皆様にお知らせすることで、県民の人権意識の高揚につなげたいと考えています。

バックナンバーが岐阜県のHPに掲載されていますので、親子の会話のきっかけとしても、是非ご利用ください。

**小学生**

いじめられているおじちゃん  
 とおぼやかたが、今日もお帰りに「いじ  
 てくれないか」とお家へ行って力を  
 入れて「お母さん、おじちゃんおは  
 ちゃん、お母さんの帰りをいっしょに  
 迎えたい」といって帰ったおじちゃん  
 さんたちがだてていじぶんとおじちゃん  
 三人ですわって楽しくお話をしました  
 お母さんの帰りを楽  
 しんがるとは、おじ  
 ちゃんたちが声をか  
 けてくれたからです。  
 ありがとう。

# 高校では「お金」に関わる新しい教育が始まりました！

今年度から高校では「お金の授業」がスタートしています。「家庭科」において「金融教育」が行われ、「預貯金」「投資信託」などの金融商品の特性を知り、それらを活かした資産形成についても学ぶことになりました。今までも「節約」や「クーリングオフ制度」など消費者目線の教育はされてきましたが、一步踏み込んだ形の学習内容となります。

金融広報中央委員会が発表した「**金融リテラシー調査**」によると「金融・投資・経済の基礎」といった基本的な問題で、**日本人の正答率は欧米に比べ、10%ほど低い**という結果が出ています。

日本社会では、「お金」について詳しく学ぶ機会がありませんでした。日常生活の中でも、欧米の人たちに比べお金の話を積極的にすることはありません。家庭においても、特に子どもの前ではお金の話はしないようにされているところが多いと言われています。

社会に出て、自分で生活するようになると、**支出が収入を超えないようにするとか、欲しいものができたら、節約してお金を貯めてそれから買う**という当たり前のことをしなければなりません。このような習慣を小さなころから身に付けさせ、上手にお金を使うことができる大人に育てていくことは、家庭での生活を通して十分に学べることです。

ただ時代の変化で、現金を扱わず口座振込になったり、カードや電子マネーという目に見えないお金や決済方法を使ったりすることが主流になりつつあります。**現金を扱うことが減っている**生活の中で、お金の知識を高め理解させることは、これまで以上に難しくなっているとも言えます。親がカードや電子マネーを普段使いしていればなおのことです。子どもによるゲームの課金問題などは、現金を介さずクレジット等で決済できてしまうからこそ起こる問題だともいえます。

学校でできるお金に関わる教育にも限りがあります。**家庭でこそお金についての話もしながら、人としての生き方や価値観について、親子で話し合えるように努めたい**ものです。

家庭教育プログラム(小・中学校校編)「みんなで子育て3」プログラム9の『金銭教育』に、ワークシート、資料、進行案が掲載してあります。

時間	進め方	留意点
10分	<b>はじめのこぼし</b> お金の大切さには、各自が思ったとおりかどうかが重要です。今日は「お金はどのように使えばいいか」を話し合います。	○英語でゲームやアプリをダウンロードする。○クレジットカード(注)の購入(16歳未満に限定して、人数を制限する)。
30分	<b>ゲームのルール</b> 「お金のルール」を話し合います。ゲームのルールを話し合います。ゲームのルールを話し合います。ゲームのルールを話し合います。	○「ゲームのルール」の重要性。○「ゲームのルール」の重要性。○「ゲームのルール」の重要性。
20分	<b>お金のルール</b> 「お金のルール」を話し合います。ゲームのルールを話し合います。ゲームのルールを話し合います。ゲームのルールを話し合います。	○「お金のルール」の重要性。○「お金のルール」の重要性。○「お金のルール」の重要性。



金融庁のHPには、小学生に人気のキャラクターとコラボしたお金について学ぶことができる資料が掲載されています。また、新成人向けの動画クイズなど、大人も確認したい内容が分かりやすく示してありますので、金融知識の把握のためにご活用ください！



暮らしの安全ガイドブック  
～みんなで学ぼう！ 暮らしの安全～

2022年の金融リテラシー調査によると、**岐阜県の「家庭で金融教育を受けたことのある人の割合」は13.2%で、47都道府県中最下位**。「学校等で・・・」も44位となっています。これらの調査結果をみると、まずは親世代が「お金について学ぶ」必要があります。

県民生活課では、「暮らしの安全ガイドブック」を作成し、子どもたちに配付しています。買う・払うなどお金に関わる内容が、分かりやすく示されていますので、このガイドブックも目を通してみてください。

また県民生活課では、**お金に関わる講師(金融広報アドバイザー)を無料で派遣する事業も行っています**。是非、来年度の家庭教育学級のテーマの1つに取り上げ、講師派遣についてもご検討ください。講座実施日の1カ月前までの申し込みになっています。

○ 申込み・お問い合わせ先 県民生活課内岐阜県金融広報委員会  
電話 058-213-9257

# 来年度の「家庭教育学級」担当の方への引継ぎをお願いします！

少し早いですが、学級長ならびに委員の皆様、1年間お疲れさまでした。今年度も新型コロナウイルス感染症のため、準備を進めていたものを急遽取り止めにしたり、人数を制限したりと大変に苦勞されたことだと思います。そのような中でも工夫した取り組みをたくさん実施していただき、誠にありがとうございました。感謝申し上げます。この後、まだ閉級式等を計画してみえる学級もあるかと存じますが、多くの学級では役員交代が行われると思います。今年度の経験から、このようなことを行うとよいというアドバイスを残していただけると、次年度の役員様も喜ばれるのではないのでしょうか。今年度のまとめ並びに次年度への引継ぎについて、よろしく願いいたします。

## ○引き継ぐ資料

- 県発行 家庭教育学級運営マニュアル（令和改訂版）
- 県発行 家庭教育プログラム（乳幼児期編）みんなで子育てⅡ 幼稚園・保育所等
- 県発行 家庭教育プログラム（小・中学校編）みんなで子育て3 小学校・中学校等
- 地区発行 令和4年度発行家庭教育学級応援通信 みんなで子育てNo1～No12
- 各学級 今年度行った家庭教育学級に関わる資料（案内・実践カード・たより等）
- 各市町教育委員会からの配布資料（計画書・報告書・会計関係書類等）
- その他、各学級が代々引き継いでいる資料
- 次年度以降への提案資料（仮予約してあるもの、保護者アンケートの結果等）
- その他

## 令和4年度 岐阜地区 家庭教育学級応援通信の掲載内容一覧

### ○子育て、家族

- ・羽島市立西部幼稚園 No.2
- ・瑞穂市立本田小学校 No.4
- ・教育力向上研究大会 No.7
- ・笠松町健康センター（子育て応援教室） No.8
- ・企業内家庭教育研修（巴産業） No.10
- ・企業内家庭教育研修（ジブラルタ生保） No.10
- ・企業内家庭教育研修（バイパス給食センター） No.11 家族

### ○絵本の読み聞かせ、家読

- ・本巣市糸貫西幼稚園 No.4 読み聞かせ
- ・瑞穂市立牛牧小学校 No.9 家読

### ○性教育（いのちの授業）

- ・岐阜市立長森西小学校 No.5

### ○防災＆減災

- ・本巣市乳幼児家庭教育学級 No.7
- ・企業内家庭教育研修（浅野税理士事務所） No.10
- ・山県市立高富中学校 No.12

### ○災害時対応・アウトドアライフ

- ・各務原市立鶴沼第一小学校 No.6 アルミ缶炊飯
- ・岐南町立岐南中学校 No.11 乾物・缶詰めを使った簡単料理

### ○情報モラル・ネット問題等

- ・岐阜市立東長良中学校 No.8 情報モラル
- ・家庭教育担当者会 No.11 ネット利用が子ども及ぼす影響

### ○食育

- ・山県市立富岡保育園 No.4

### ○木育

- ・ぎふ木育教室、他 No.8
- ・北方みなみ子ども館 No.10

### ○運動遊び

- ・ビタミン講座（乳幼児支援講座） No.11

### ○ソフトエアロビクス＋子育て交流

- ・羽島市立堀津小学校 No.11

### ○清掃（生き方）

- ・笠松町立笠松中学校 No.11

### ○整理収納

- ・各務原市ひよし幼稚園 No.5 子どもの作品をどのように飾る・保管する

### ○コミュニケーションづくり

- ・企業内家庭教育研修（ヨツハン） No.10

### ○おもちゃ作り

- ・岐阜市立合渡小学校 No.6 モーターで動く手作りおもちゃ

### ○「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

- ・本巣市立真桑小学校 No.2 家庭学習
- ・各務原市立桜丘中学校 No.2
- ・岐阜市立藍川中学校 No.9
- ・本巣市立本巣小学校 No.9

県では「県職員出前トーク」を実施しています！  
講師としてご活用ください！



9つの分野から  
テーマを選べます！

出前トークは、無料で  
ご利用いただけます。



来年度の参考にしてください！

令和3年度家庭学級の取組紹介ページ

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/243150.html>

（岐阜地区以外の実践を含む）

